

# 復旧・復興支援制度データベース API

## カレンダー連動プロジェクト

岩切、及川、佐伯、森崎、福井

2012.6.2

# プロジェクトの目的

国や地方自治体が、東日本災害の復興・復旧のために被災者への支援制度を数多く立ちあげております

それを受けて、経産省が、支援制度情報を外部サービスで利用するためのAPIを特設サイトで外部公開しています

<http://www.r-assistance.go.jp/default.a>

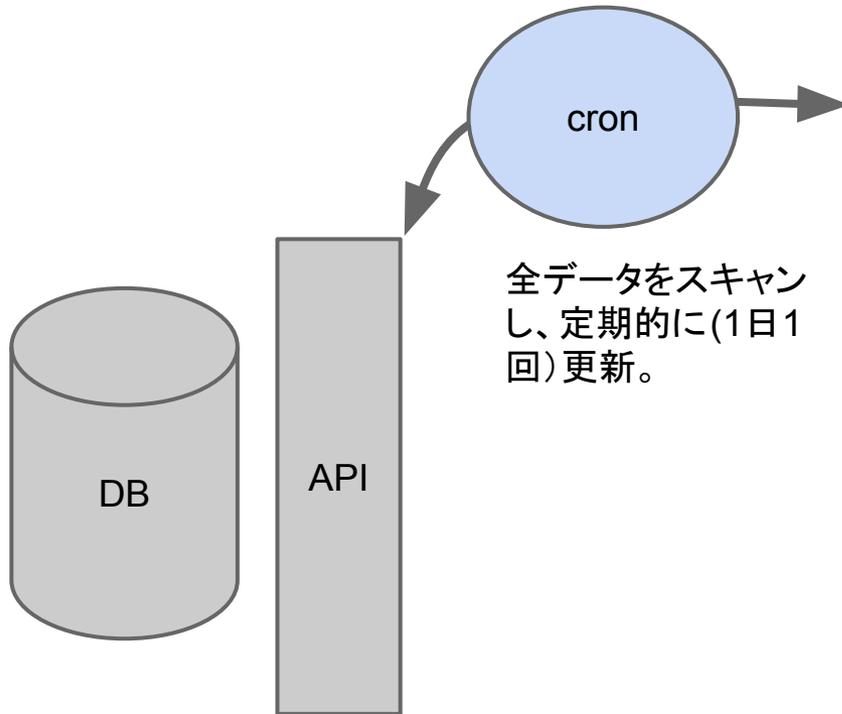
ただし、このサイトを見ても、「いつまでに」「どの地域を対象として」「だれを対象に」といった情報が、わかりづらい状況となっています

本プロジェクトは、IT勉強会カレンダーを参考にし、復旧・復興APIを使って、Googleカレンダーに登録し、アラートをTwitterで流すことを想定しました

ただし、議論をすすめる中で、現在公開されているAPIの情報の型の問題で、カレンダーを作ることが難しい状況であることがわかったため

- 1) どういうカレンダーを作ったらわかりやすいか？
- 2) APIをどう改善したら支援制度締切カレンダーを作れるのか？

# システム案



カレンダーエントリー

例) 2012年6月1日(制度開始もしくは申請開始) ~ 2012年12月31日(申請期限)  
制度情報を予定として登録

利用例

1) Twitterボット  
制度開始/申請開始時にツイート

2) 興味のあるツイートならば、クリックし、自分のカレンダーにコピー&アラート設定

Twitter BOT

ツイート  
#地域ハッシュタグ

# カレンダーデータの利用例

Twitterボット(前スライドの例)

Twitterボット - Twitterでのツイートやトレンドなどを元に適切な制度をリコメンド

Facebookなどで、自分のソーシャルグラフの友人(自分と近い状況と考えられる)が申請しているものをリコメンド

切り出して、市町村のサイトで該当制度をカレンダー化することもできる

# データベース／APIの課題

## 検索機能の不足

APIがWebインターフェイスと同じように、階層をたどる形で制度情報に辿りつくことしかできない。

たとえば、申請期限で検索することができない。

# データベース／APIの課題

## 申請期限のフォーマット

申請期限(application\_deadline)のデータ型がContentItemとなっており、実質無規定。

例)

平成27年度末申込分まで

平成24年4月1日～平成27年3月31日

# データベース／APIの課題

申請期限の内容不足

「窓口にお問合せください。」が多すぎ

# データベース／APIの課題

## 申請期限のフォーマット

1つの制度に複数の申請期限があるものが存在しており、それらすべてを取得するのが難しい。

例) [http://www.r-assistance.go.jp/contentdetail\\_k.aspx?ContentID=210](http://www.r-assistance.go.jp/contentdetail_k.aspx?ContentID=210)

# データベース／APIの課題

## 制度の依存関係の整理

